HAIGE

除雪機

取扱説明書

HG－SSG5562

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。

おねがい

このたびはハイガー製除雪機をお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。 なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

注意文の ⚠危険 ⚠警告 ⚠注意 の意味について

使用上の注意事項は、下記マークで表示しています。

⚠危険　誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。

⚠警告　誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。

⚠注意　誤った取り扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。

⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本書の内容は、後日変更する場合があります。
本機は国内専用です。

もくじ

おねがい	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
各部の名称	5
各部の組立て	6
運転前の点検	8
運転操作のしかた	10
点検・整備のしかた	24
長期間使用しないとき	29
故障と思ったら	30
主要諸元	32
品質保証規定	33
お客様ご相談窓口	34

⚠警告

●作業を始める前に

・すべりにくい靴、防寒服、手袋などの作業に適した服装を心掛けてください。
・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
・視界が良くないときは使用しないでください。

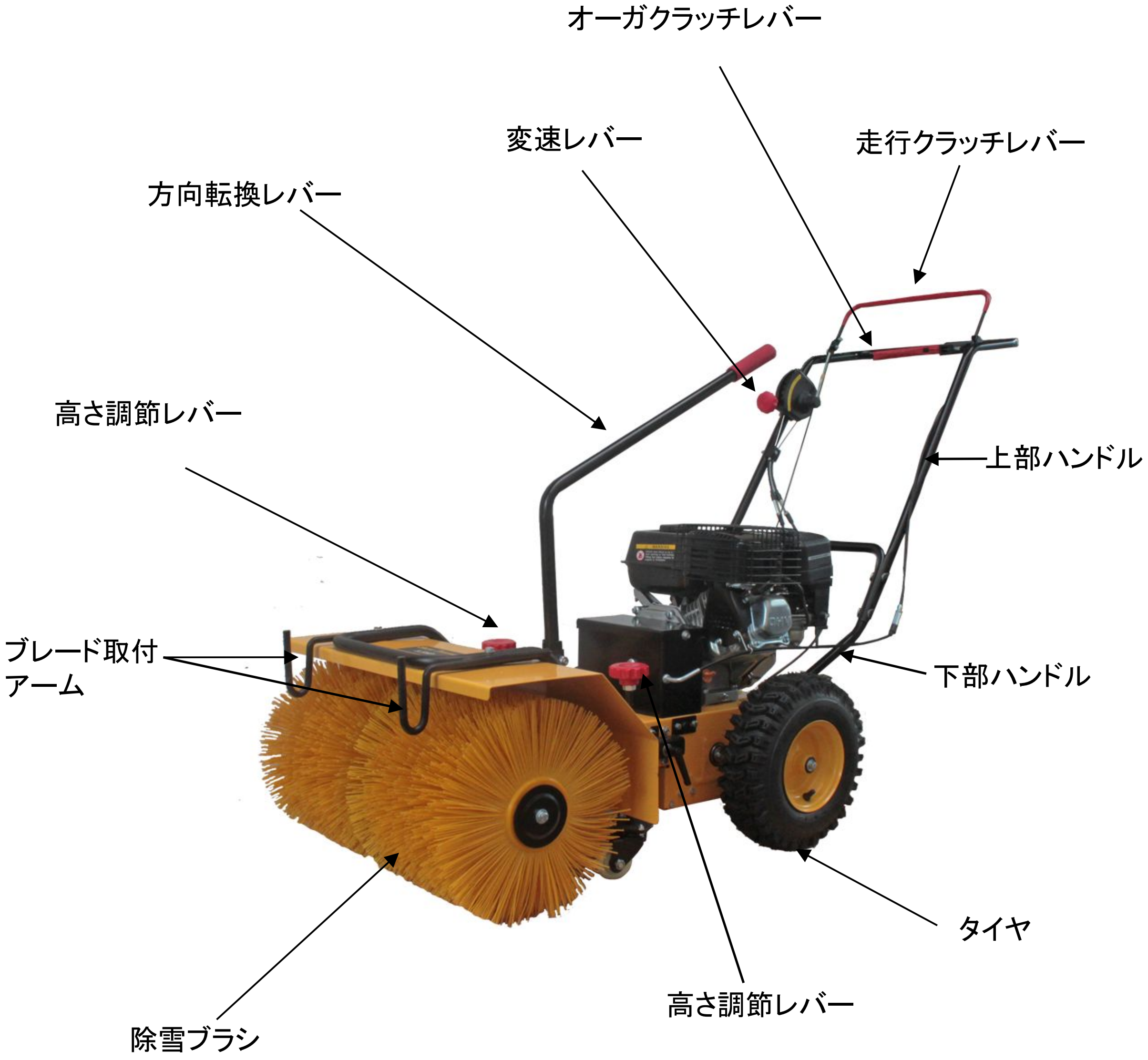
・エンジンを始動する前には使用前点検を必ず行ってください。
・燃料は無鉛ガソリンを使って下さい。
・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
・燃料をこぼさないように注意し、燃料タンクキャップを確実にしめてください。もし、燃料がこぼれた場合はきれいにふき取って下さい。
・排気ガスには十分に注意してください。
・バッテリー液を身体や衣服につけないでください。 万一付着したときは、すぐに水で洗い流して下さい。

●作業中の注意

・回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。
・除雪する場所の異物はあらかじめ取り除いておいてください。
・投雪方向に十分注意してください。
・坂道の走行には注意してください。
・雪詰りを取除くときは、必ず雪かき棒を使用してください。
・雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。
・除雪部が異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、除雪機が損傷されていないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。
・後方へ走行するときは、足元ならびに背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。
・傾斜面を横切って除雪しなでください。傾斜面で方向を変える場合には、十分注意をしてください。

●保管のときの注意

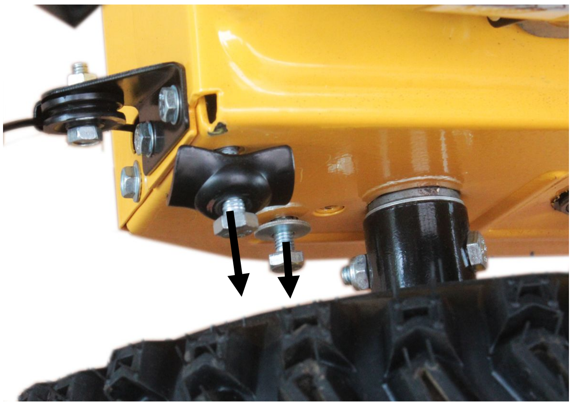
・除雪機を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。
・シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
・オーガ　ハウジングを接地させ、運転キーを抜いてください。
・定期点検整備を行ってください。



オーガクラッチレバー
変速レバー
走行クラッチレバー
方向転換レバー
高さ調節レバー
上部ハンドル
ブレード取付
アーム
下部ハンドル
タイヤ
高さ調節レバー
除雪ブラシ

1.ハンドルの取付

①本体に仮止めされている左右それぞれ2箇所のボルト、ワッシャを取り外します。



②下部ハンドルの取付穴を本体取付穴にあわせ、取り外したボルトでしっかり固定します。

③上部ハンドルは、赤い走行クラッチレバーを上側にして、左右それぞれ2箇所の取付穴を、下部ハンドルの取付穴にあわせ、外側からボルトを差込、内側からノブナットでしっかり固定します。

④走行ワイヤを走行クラッチレバーに引っ掛け、本体から出ているケーブルと接続します。 ワイヤーのたるみがなくなるまでアジャスターを回しまし、金色のナットで固定します。

2.方向転換レバーの取付

①除雪ブラシユニットにある方向転換ブラシ取付金具に仮止めしているボルトを取り外します。

②方向変換レバーを取付金具に差込、ボルト、ナットでしっかり固定します。

除雪ブラシの前方にあるスノーブレード固定金具取付ボルトナット2本を緩めます。

●燃料の点検

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。

・燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。
・少ないときは上限の位置まで補給してください。

補給のしかた

使用燃料　自動車用無鉛ガソリン
（レギュラーガソリン）

燃料タンク　2.6L

補給後、給油キャップを確実に閉めてください。

⚠ 警告

・点検、整備を行うときは、エンジンを停止してください。
・換気の良い場所で行って下さい。
・火気を近づけないでください。
・静電気を除去してから給油してください。
・燃料はこぼさないように補給してください、万一こぼれたときは完全にふき取って下さい。
・燃料は注入口の口元までいれず給油限界位置を超えないように補給して下さい。

⚠ 注意

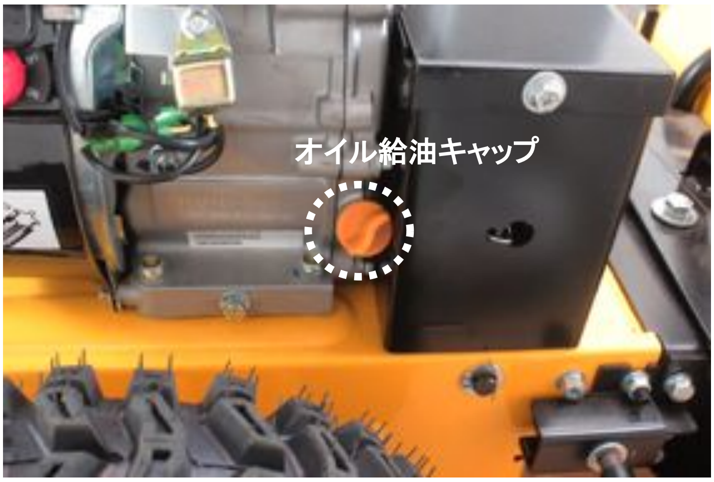
・補給時、燃料タンク内に水、雪、氷が入らないように注意してください。
・ハイオクガソリンは使用しないでください。

●エンジンオイルの点検

エンジンオイルの量、よごれを確認します。

1.車体を水平な場所に移動させます。
2.オイル給油キャップを外します。
3.オイルゲージの上端までオイルがあるか点検してください。
4.オイル量が少ないときは、新しいオイルを補給してください。

推奨オイル	SAE 5W-30
オイル容量	0.6L



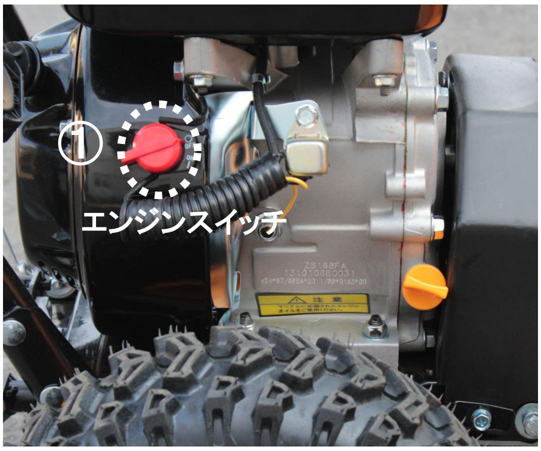
●各部ボルトの緩み確認

・ハンドル、各ユニット・アタッチメントのがたがないこと、オーガボルト、ブレード固定金具取付ボルトなどの緩みがないことを点検してください。

・各部の破損、腐食がないか点検してください。

●エンジンのかけかた

1. ①エンジンスイッチをON
   にします。



2.②のレバーでエンジンの
回転数を右側(高回転)にします。

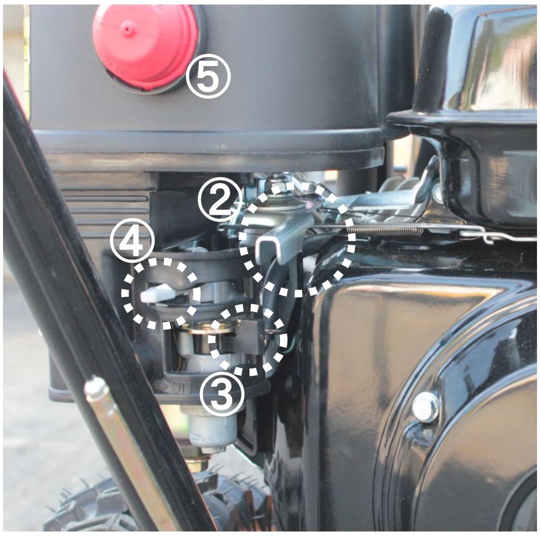
3.③のガソリンコックを
右いっぱい(ON)にします。

4.④のチョークつまみを
左いっぱいにします。

5.⑤の燃料ポンプを3～4回
押して下さい。(初回のみ)

6.リコイルスターターを引きます。

7. エンジンを起動後暖気運転を行
い、運転状況を確認します。
異常がなければ④チョークつま
みを右にまわします。

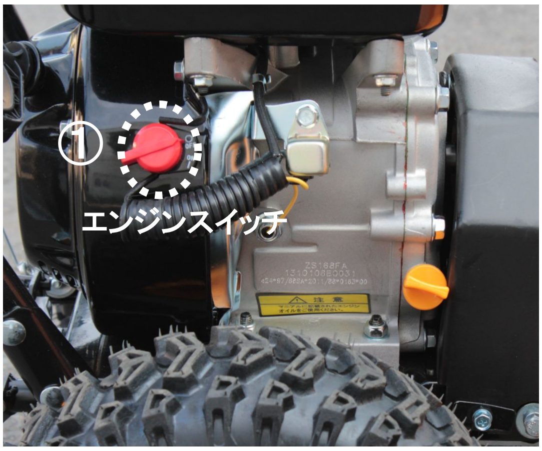


⚠注意

走行クラッチレバー、除雪クラッチレバーを握った状態でエンジンを始動しないでください。

●エンジンのとめかた

1. 走行クラッチレバー、オーガクラッチレバーを離します。
2. エンジンスイッチをOFFにします。
3. ガソリンコックを左いっぱいにまわします。



⚠警告

除雪機は水平な場所に駐車してください。

●スピード調整

前進、後退の切り替え及び走行速度を変更します。

前進　変速レバーを下方向(前方向)に動かします。
　　　スピードは4段階で、位置F1は最も遅く、位置4が最も速くなります。

後進　変速レバーを上方向(後方向)に動かします。

⚠ 注意

変速レバーの操作は、走行クラッチ、オーガクラッチの両方のレバーを離した状態で行って下さい。
走行クラッチをにぎったまま、変速レバーを操作すると、変速輪クッション破損の原因になることがあります。

⚠ 警告

操作前に機械についてこのマニュアル中の指示および警告をすべて読んで、理解して、指示に従ってください。

●走行クラッチとオーガクラッチの操作

オーガを回転させるには、ハンドル中央にあるオーガクラッチレバーを握ります。
止めるには、オーガクラッチレバーを放します。

走行するには、ハンドルにある、赤い走行クラッチレバーを握ります。

前進、後進、走行スピードは、変速レバーを操作します。

・除雪機を移動させるときは、走行クラッチレバーを握ります。
・走行クラッチレバーを握りながらオーガクラッチレバーを握ると、走行しながら除雪が出来ます。

・変速レバーで、除雪作業に適した速度に調整します。

⚠注意

変速レバーの操作は、走行クラッチ、オーガクラッチの両方のレバーを離した状態で行って下さい。
走行クラッチをにぎったまま、変速レバーを操作すると、変速輪クッション破損の原因になることがあります。

●除雪ブラシの高さ調整

積雪にあわせて、除雪ブラシの高さを変更することが出来ます。
最大100mm上げる事が可能です。

高さ調整のしかた

除雪ブラシを上げる
左右の赤いレバーを時計と同じ方向に左右均等に回します。
予定の高さまで除雪ブラシが上がった時点で、回すのをやめます。
左右の高さが均等であることを確認します。

除雪ブラシを下げる
左右の赤いレバーを反時計方向に左右均等に回します。
予定の高さまで除雪ブラシが下がった時点で、回すのをやめます。
左右の高さが均等であることを確認します。

⚠警告

・除雪機は水平な場所に駐車してください。
・高さ調整を行うときは、エンジンを停止してください。

●方向転換操作

本機の方向を転換する際、方向転換レバーで除雪ブラシを曲がりたい方向へ向けます。

走行レバーを放して、停止します。
方向転換レバーを引き降ろしながらレバーを操作して、除雪ブラシを曲がりたい方向に向け、方向転換レバーを戻します。

この状態で、走行レバーを握ると、除雪機は、向けた方向に弧を描くように曲がります。

方向転換が出来た時点で、一旦停止し、次の方向転換操作を行います。

⚠ 警告

・方向転換レバーを操作するときは、必ず装置を停止してください。
・装置は、除雪ブラシの方向に進みます。 走行前、走行中は、装置が進む方向に十分注意してください。

●専用スノーブレードアタッチメント(オプション品)

雪を押して除雪するアタッチメントで、雪を飛ばさずに除雪を行いたい場合や、投雪が困難な水分を多く含んだ重い雪の除雪作業に適しています。

取付け方

⚠ 警告

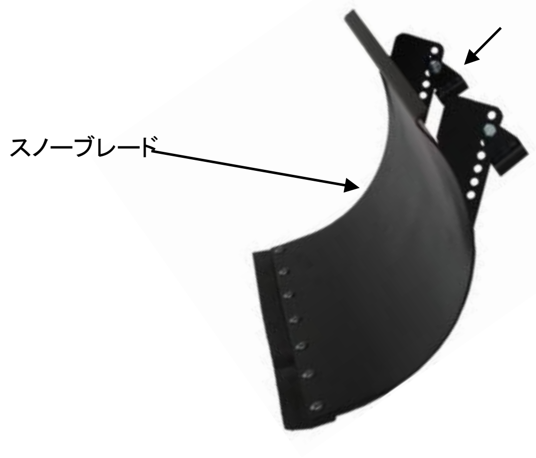
・安全を確保し作業を行って下さい。
・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

⚠ 注意

・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい

準備するもの

スノーブレードアタッチメント(本体及び付属品)



●専用スノーブレードアタッチメント(オプション品)

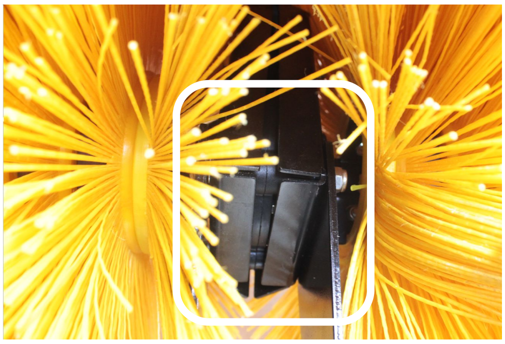
取付手順

1.スノーブレード固定金具を除雪ブラシ本体に取付けます。

①除雪ブラシの前方にあるスノーブレード固定金具取付ボルトナット2本を緩めます。

②スノーブレード固定金具を緩めた2本のボルトに引っ掛けるように取付けます。

③固定金具取付ボルトナット2本を仮止めします。



2.スノーブレードの取付金具を取付けます。

・スノーブレードの取付金具は上から2番めの穴を使用してください。
・ボルト・ナットは仮止めしてください。 除雪ブラシユニットに取付後本締めします。

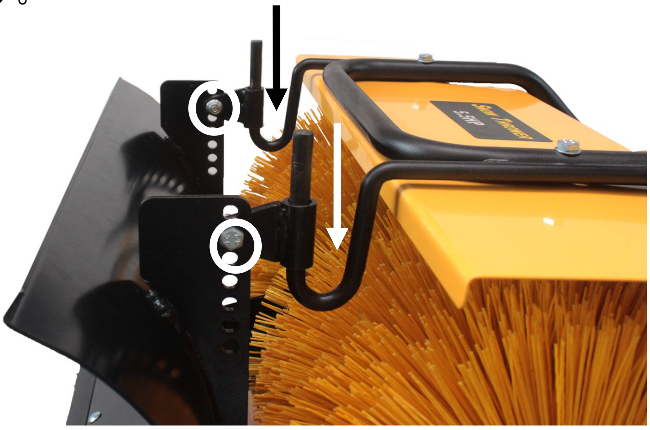
●専用スノーブレードアタッチメント(オプション品)

取付手順

3.スノーブレートを本体に取付けます。

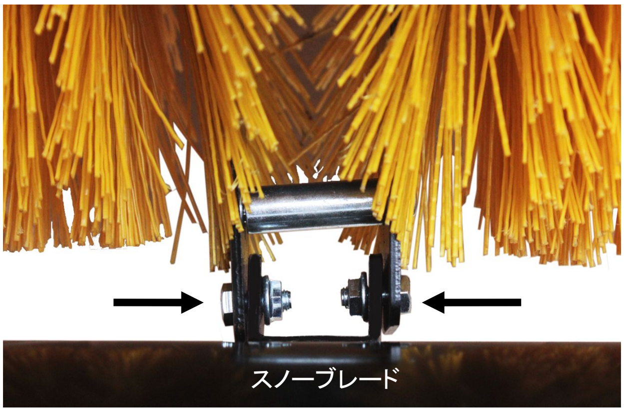
左右の取付金具を除雪ブラシ本体にあるブレードアームに差込みます。

取付金具のボルトをしっかり締めます。



4.スノーブレードを固定金具に固定します。

スノーブレードの取付部分をスノーブレード固定金具の内側に入れ、取付穴をあわせて外側からボルトを通し、ナットでしっかり固定します。



5.ブレード固定金具にスノーブレードを取付ボルトナット2本でしっかり固定します。

●専用スノーシューター&オーガアタッチメント(オプション品)

積もった雪を回転式オーガアタッチメントで掻き集めて吸い込み、煙突状のシュート（投雪部）から吹き飛ばします。

取付け方

⚠警告

・安全を確保し作業を行って下さい。
・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

⚠注意

・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい

準備するもの

スノーシューター&オーガアタッチメント(本体及び付属品)

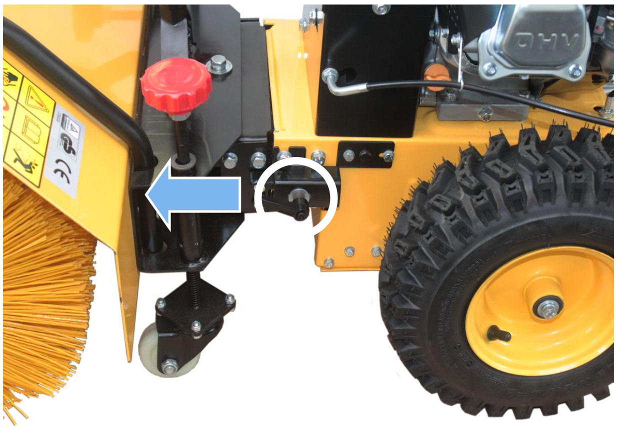
●専用スノーシューター&オーガアタッチメント

取付手順

1.除雪ブラシユニットを本体から取り外します。

①除雪ブラシユニットを固定している左右のボルトを外します。

②除雪ブラシユニットを本体から切り離します。

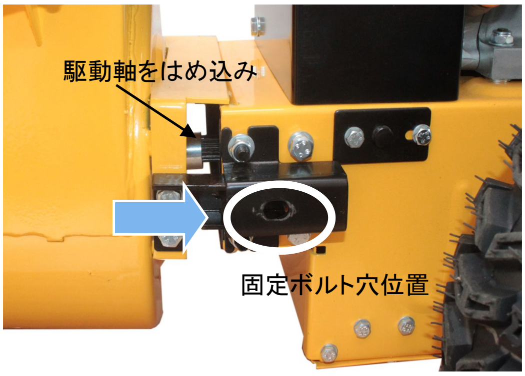


2.スノーシューター&オーガアタッチメントを本体に取付けます。

①スノーシューター&オーガアタッチメントを本体の取付金具に差し込みます。

②オーガ側駆動軸に本体側駆動軸をはめ込みます。

③固定ボルトでしっかりアタッチメントを固定します。

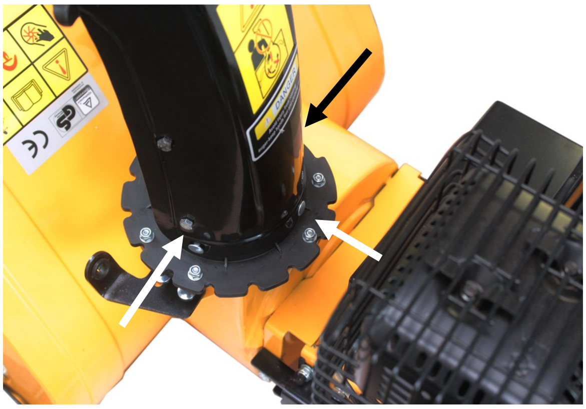


●専用スノーシューター&オーガアタッチメント(オプション品)

取付手順

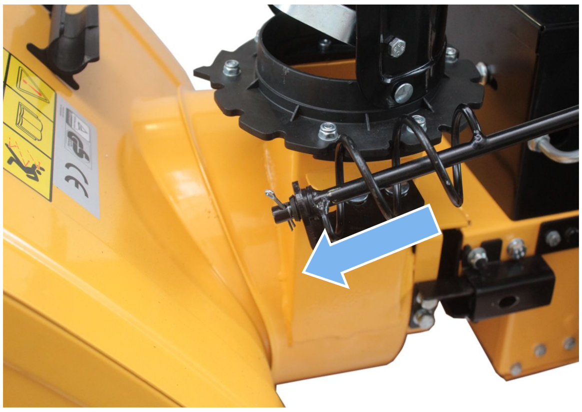
3.投雪口を取付けます

①投雪口を本体の投雪口台に乗せます。
②投雪口を固定する穴3箇所をあわせ、外からボルトを通し、内側からナットを締めてしっかり固定します。



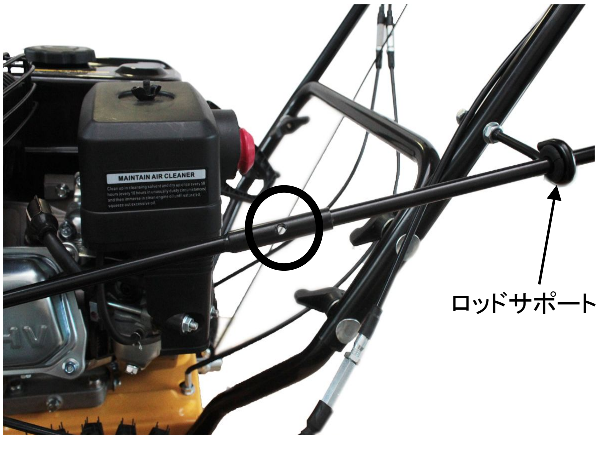
4.投雪口回転ロッドを取付けます。

①投雪口回転ロッド1をロッド受けに通し、割りピンを挿入して固定します。



②ロッドサポートをハンドルに取付けます。

③投雪口回転ロッド2をロッドサポートに通し、1と連結し、ボルトを通してナットをしっかり締め固定します。

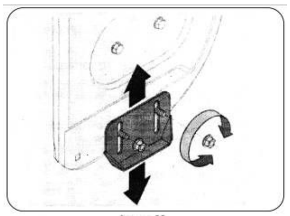


●専用スノーシューター&オーガアタッチメント(オプション品)

❖ソリの高さ調節

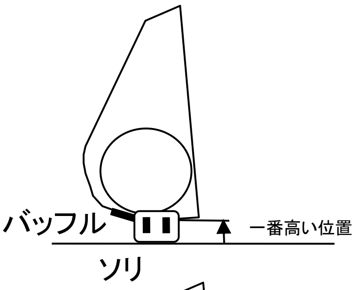
除雪する路面の状態に合わせてソリのボルトを緩めて調節します。

ソリの高さを調節した後しっかり締めます。



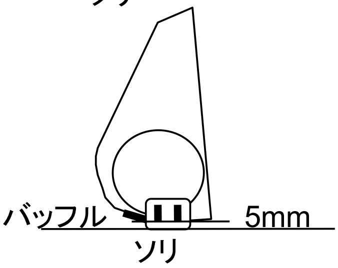
◆砂利などが多い路面など

バッフルが路面から一番離れるよう、ソリを固定します。



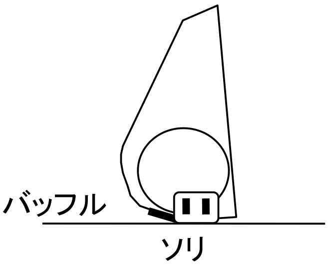
◆ 普通路

バッフルを路面から5㎜持ち上げた状態でソリを固定します。



◆ 圧雪路

バッフルを路面に接地した状態でソリを固定します。



⚠ 警告

・点検、整備を行うときは、エンジンを停止してください。

●専用スノーシューター&オーガアタッチメント(オプション品)

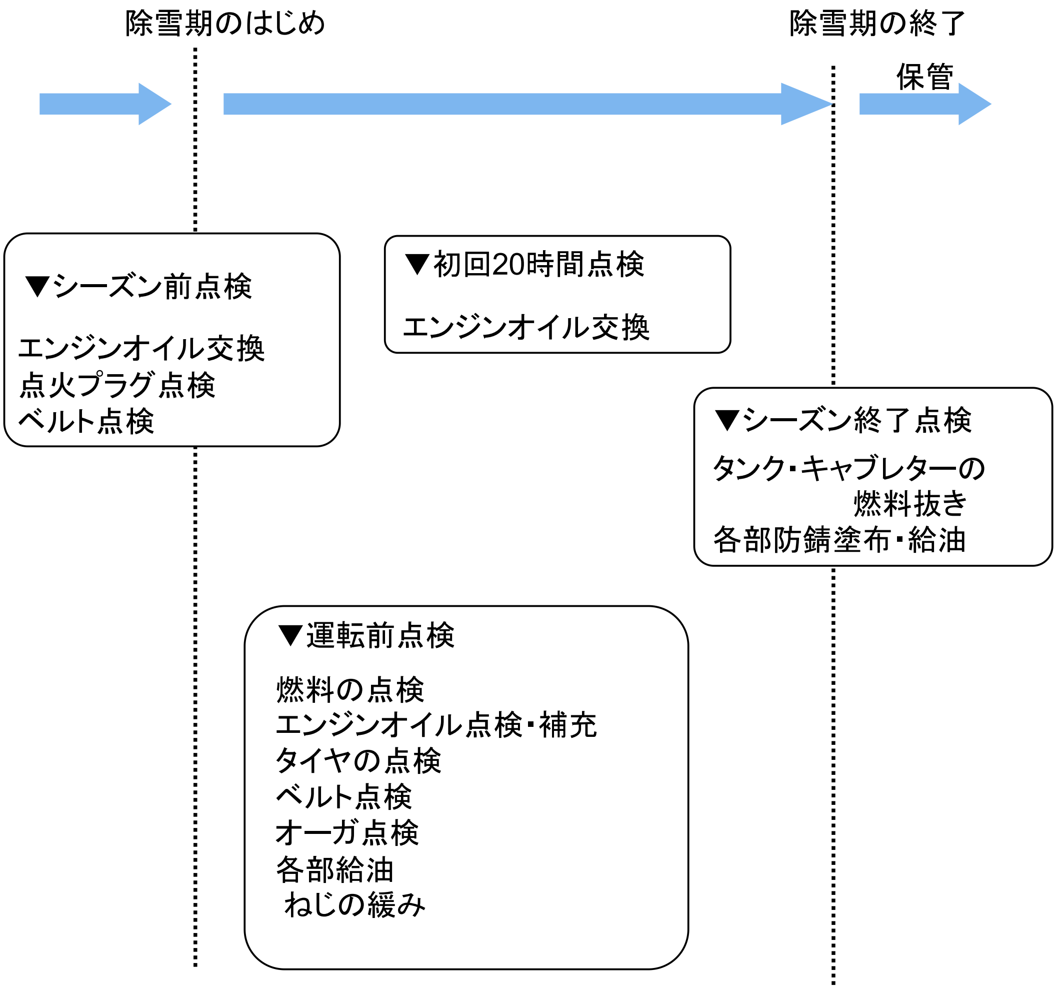
❖投雪口に詰まった雪の除去

⚠ 警告

・投雪口につまった雪を除去するときは、エンジンを停止し、各回転部が完全に止まってから、必ず備え付けの雪かき棒を使って雪を取り除いてください。
・エンジンが回っているときは、絶対に手を入れないでください。機械に巻き込まれ重傷を負うおそれがあります。

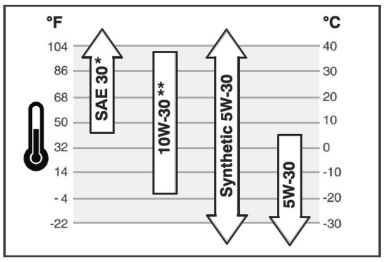
1. エンジンを停止させ、オーガ、ブロワの回転が停止したことを確認してください。
2. 雪かき棒を使ってつまった雪を除去してください。
   雪かき棒はオーガカバーに備え付けられています。
   除去作業が終わったら雪かき棒を元の位置に取り付けてください

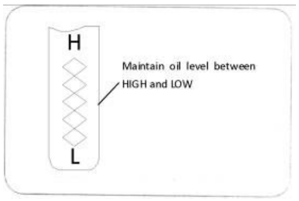
いつまでも安全にお使いいただくために定期点検を行ってください。



●エンジンオイルの交換

交換時期	初回20時間 以降、除雪期のはじめ
推奨オイル	使用オイル SAE 5W-30
規定量	0.6L





交換のしかた

1.機械を水平な場所で水平な状態にします。

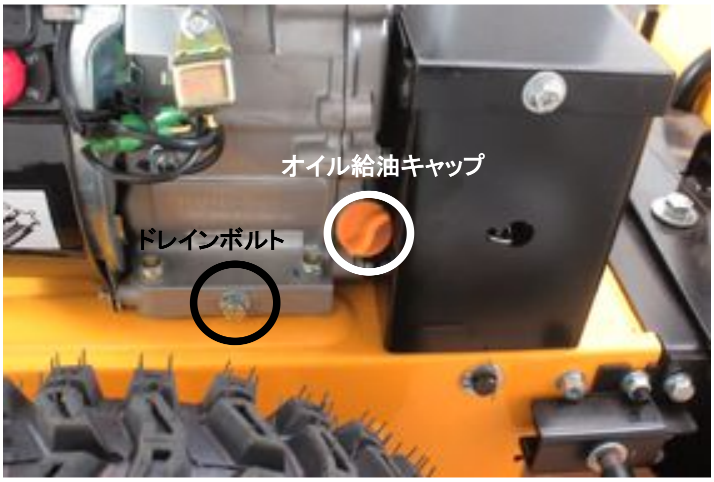
2.オイル受けを用意してください。

3.オイル給油キャップ、ドレインボルトを外してオイルを抜きます。

4.オイルが抜けたらドレインボルトを確実に締めます。

5.新しいエンジンオイルをレベルゲージの上限まで入れます。

6.注入後、オイル給油キャップを締めます。



●点火プラグの点検・清掃

点検時期	除雪期のはじめ
交換時期	250時間運転毎
点火プラグ	NGK　BPR7ES DENSO　W22EPR-U

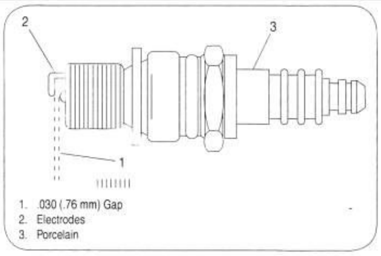
点検のしかた

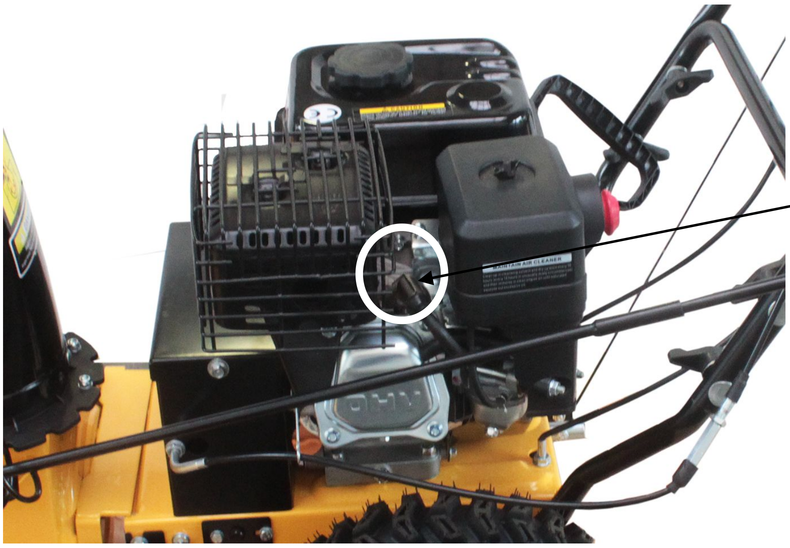
1.点火プラグキャップを取り外します。

2.点火プラグを取り外します。

3.点火プラグをワイヤブラシで清掃します。

4.隙間は0.7mm～0.8mmが適切です。





キャップを外すと点火プラグが見えます。付属のプラグレンチを使って外します。

●タイヤの点検、メンテナンス

点検時期　　除雪期のはじめ

点検のしかた

目視にて破損や亀裂が無いかを確認して下さい。
パンク、亀裂が見つかった場合は、修理または新品と交換してください。

タイヤの空気圧を確認して下さい。
空気圧は1.5kgf／cm2（150Kpa)になります。

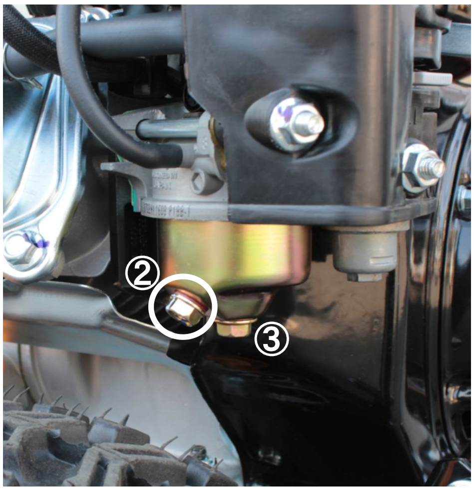
●燃料系の点検・メンテナンス

燃料タンクのガソリン、キャブレターのガソリンを抜きます。
ガソリンを受ける容器を用意してください。

1.燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を抜きます。

2.①ガソリンコックをONにします。

3.②部分の斜めについているボルトを緩めて、ガソリンを容器にうけます。
キャブレターの燃料を抜くことができます。



③のボルトは絶対に緩めないで下さい。

4.ガソリンを抜き終わったら①ガソリンコックを閉めます。

5.緩めたボルトは、必ずしっかり締めて下さい。

⚠ 警告

緩めたボルトは、必ずしっかり締めて下さい。　ガソリンがもれると引火の危険があります。

こぼれたガソリンは布などで、直ちにふきとってください

長期間使用しないとき

除雪期が終わりましたら、次の手入れを行い、保管してください

⚠ 警告

・エンジンキーを抜き安全を確保し作業を行って下さい。
・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

⚠ 注意

・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい
・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

1.保管するときは、除雪ブラシを接地させてください。

2.燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。

3.燃料タンクの口にある、燃料ろ過カップを清掃します。

4.各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。

5.防錆、給油を行います。

機械が故障と思われるときは、まずご自身で下表を参考に点検・修理を行ってください。

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良、 ②スパーク・プラグ不良 ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良 ⑤イグニッションに関る配線不良	交換 交換 調整 交換 正しく接続
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない ②燃料コックが閉じている ③燃料ホースの詰まり、漏れ ④燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	燃料を入れる コックを開く ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレータ詰まり（ニードル・バルブ膠着）	キャブレタ分解掃除

故障と思ったら

●うまく走行できない

現象	原因	対処
前進走行しない	変速輪クッションが磨耗、亀裂がある 走行ベルトが磨耗、亀裂、破損 走行ワイヤ破損	変速輪クッション交換 走行ベルト交換 走行ワイヤ交換
進みにくい	シャーピンが折れている オーガの高さが適性でない 除雪部に雪が付着、堆積している	ピン交換 ソリの高さ調整 堆積した雪を雪かき棒で落とす
後進しない	オーガの高さが適切でない	ソリの高さ調整

●うまく除雪作業ができない

現象	原因	対策
シュータから雪が出ない	シュータに雪が詰まっている	雪かき棒で落とす
雪を集められない	オーガに雪がついている	雪かき棒で落とす
オーガが回転しない	シャーピンが折れている	シャーピン交換
雪のとびが悪い	エンジンの負荷が高い シャーピンが折れている	エンジン回転をあげる シャーピン交換
固い雪に乗り上げて食い込まない	オーガの高さが適切でない シャーピンが折衝している	ソリの高さ調整 シャーピン交換
オーガが路面に当たる	オーガの高さが適切ではない	ソリの高さ調節

主要諸元

排気量	163cc
定格出力	4.0kw[5.5ps]/3600 rpm
エンジンオイル	SAE 5W-30
エンジン燃料	無鉛ガソリン
最大除雪幅	620㎜
投雪方向	22度
起動方式	リコイルスターター
ギア	4進2後
本体サイズ	900×1320×620　mm

この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

品質保証規定

保証期間：1年間（消耗部品を除く）
部品購入可能期間：機種生産中止まで。

保証期間内であれば消耗品を除き部品が壊れても当社で保証をいたします。
保証期間内の修理も無料で承ります。その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。 あらかじめご了承ください。
部品の交換をお客様でされる場合はお電話、又はメールでご連絡の後、破損した部品を当社までお送りください。確認出来次第お客様に部品をお送りさせていただきます。 送料は全てお客様のご負担となります。

以下に該当する故障は保証の対象外といたします。
1）改造や社外パーツを用いての使用
2）誤った使用方法による故障
・凍った雪の除雪や投雪口に雪を詰まらせた状態での使用等
3）定期的なオイル交換をしなかった場合、又はオイルの入れ忘れによる故障
・オイル交換：初回20時間、以降50時間毎に交換
オイル粘度；4サイクルSAE5W-30
4）燃料を入れた状態での長期放置による部品の劣化
・燃料ホース、キャブレターなどが傷むので燃料は抜いて保管してください。
5）管理不足による故障・雨ざらしや塩害による劣化、ボルトの緩み、凍結によるワイヤーの破損等
6）使用損耗及び消耗
・塗装の剥がれや錆、凹み、異音等
7）外的要因
・自然災害や盗難等
8）使用環境に影響する性能
・投雪口に詰まる雪、雪の水分量により影響を受ける投雪距離等
9）以下の消耗品の破損・紛失
燃料、潤滑油、シャーピン、オーガ（回転刃）、オーガベルト、走行ベルト、ワイヤー、ライト、配線、モーターブラシ、点火プラグ、ボルト、ナット、ワッシャー、キャブレター、ゴムパーツ（タイヤ、クローラー含む）、バッテリー、リコイル紐、エアクリーナー、付属品

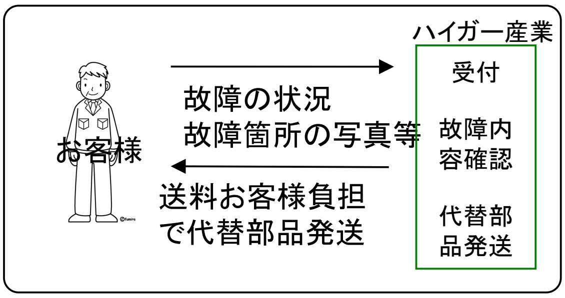
※代理店や修理業者で修理された場合の工賃はお客様のご負担となります。
※部品は在庫切れとなった場合、取寄せ後の修理、発送となります。
※予告なく機種生産が終了になった場合には、部品のご提供も終了となります。

お客さまご相談窓口

まず、「故障と思ったら」を参考に、ご自身で点検してください。

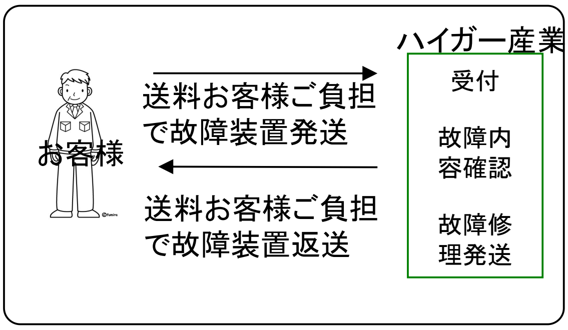
●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。
送料は全てお客様のご負担となります。



●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。



修理を依頼される時は
下記の事項をご連絡ください。

① 故障の状況
② 型式
③ 製造番号
④ ご購入年月日
⑤ お名前、ご住所、電話番号

お問合せ先

本社　ハイガー産業株式会社
〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3
TEL0276-55-2275　　FAX0276-55-2276

HAIGE